

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-146852

(43)Date of publication of application : 20.05.1992

(51)Int.Cl.

B60R 22/20

(21)Application number : 02-271348 (71)Applicant : NISHIDA KAZUICHI

(22)Date of filing : 08.10.1990 (72)Inventor : NISHIDA KAZUICHI

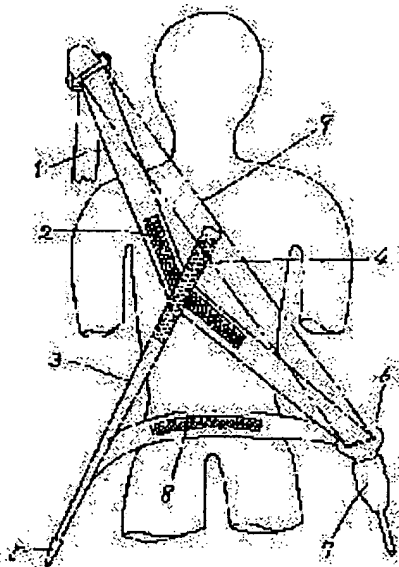
(54) COMFORTABLE USAGE DEVICE OF SEAT BELT

(57)Abstract:

PURPOSE: To bend a diagonal part of a seat belt into a dogleg shape and prevent a shoulder part of the seat belt from being caught on the neck, the throat and the chin by providing a pull belt to pull the diagonal part of the seat belt diagonally downward from its proper position.

CONSTITUTION: A 'Magic tape (Registered)' 2 with proper length is attached on a proper position of the diagonal part of a seat belt 1, and when a 'Magic tape (Registered)' 4 with proper length attached on the upper part of a pull belt 3 is engaged with it by one touch operation so that it is devised to pull the seat belt diagonally downward, the diagonal part of the seat belt 1 is bent angularly downward, the shoulder part above the diagonal part comes to pass separated from the neighbourhood of the neck.

Accordingly, it is possible to prevent the seat belt 1 from being caught on the neck, throat and the chin and to eliminate such annoyance. The root of the pull belt 3 is devised to install free to connect and disconnect with a hook 5, and at the time when the seat belt 1 is not used, the magic tape 4 of the pull belt 3 is engaged with a 'Magic tape (Registered)' 8 attached on a hucklebone part belt and the seat belt 1 is stored.



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平4-146852

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成4年(1992)5月20日

B 60 R 22/20

7912-3D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 発明の名称 シートベルトの快適使用装置

⑯ 特 願 平2-271348

⑰ 出 願 平2(1990)10月8日

⑱ 発 明 者 西 田 主 一 広島県双三郡君田村大字東入君306番地

⑲ 出 願 人 西 田 主 一 広島県双三郡君田村大字東入君306番地

明細書

1・発明の名称 シートベルトの快適使用装置

2・特許請求の範囲

シートベルトの斜め部を、その適当位置から斜め下方へ引っ張ることにより、くの字形に曲げて該シートベルトの肩の部分が、首やノド、アゴなどに掛からないようにする為の引っ張りベルトを設けたことを特徴とするシートベルトの快適使用装置。

3・発明の詳細な説明

本発明はシートベルトの煩わしさを解消して快適に使用する装置に関するものである。従来のシートベルトはその斜め部上方の肩の部分が運転者の首の付近を通る為に、首やノド、アゴなどに掛かり易いので、これが^意意外に煩わしく特に座高の低い人には尚更である。本発明はこの欠点を解消する為になされたもので、該シートベルトの斜め

部を適当な位置から斜め下方へ引っ張って、くの字形に曲げることにより斜め部上方の肩の部分が首の付近から離れて通るようにすれば、首やノド、アゴなどに掛からず煩わしくないで該シートベルトの斜め部を斜め下方へ引っ張る役目をする引っ張りベルトを設けてシートベルトを一段と快適に使用することを目的とするものである。

本発明の実施例を図面について詳説すれば、第1図に示すようにシートベルト1の斜め部の適当な位置に適当な長さを有するマジックテープ2を添着して、これに引っ張りベルト3の上部に添着した適当な長さを有するマジックテープ4をワンタッチ操作で接着して斜め下方に引っ張るようにすれば、シートベルト1の斜め部は^示図7のように、くの字形に下方に曲がって斜め部上方の肩の部分が首の付近から離れて通るようになるので、首やノド、アゴなどに掛からず煩わしさが解消する

ものである。この場合座高など個人差に応じて加減できるようにする為にマジックテープ2および4は適当な長さを有する必要があるのである。引っぱりベルト3の根元はフック5で着脱自在に取り付けられればよい。運転しない時はシートベルト1のタンダプレート6をバックル7から外してシートベルト1を自動的に収納するがその時には、引っぱりベルト3のマジックテープ4とシートベルト1の斜め部のマジックテープ2を剥離して、シートベルト1の腰骨部ベルトに添着したマジックテープ8に該引っぱりベルト3のマジックテープ4を接着して収納できるようにする。運転する時は従来のように先ずシートベルト1を引き出してタンダプレート6をバックル7に差し込んでから、引っぱりベルト3のマジックテープ4をシートベルト1の腰骨部ベルトのマジックテープ8から剥離して、シートベルト1の斜め部のマジックテ

ープ2の適当位置を手で持って斜め下方へ引っぱり、くの字形に曲げてからその位置へ引っぱりベルト3のマジックテープ4の適当位置をワンタッチで接着して手を離せば、図7のようにシートベルト1の斜め部上方の肩の部分は首の付近から離れて通るようになるから快適に運転できるものである。以上のように本発明は構造および使用操作が簡単でその作用効果も適確であるから極めて好都合である。

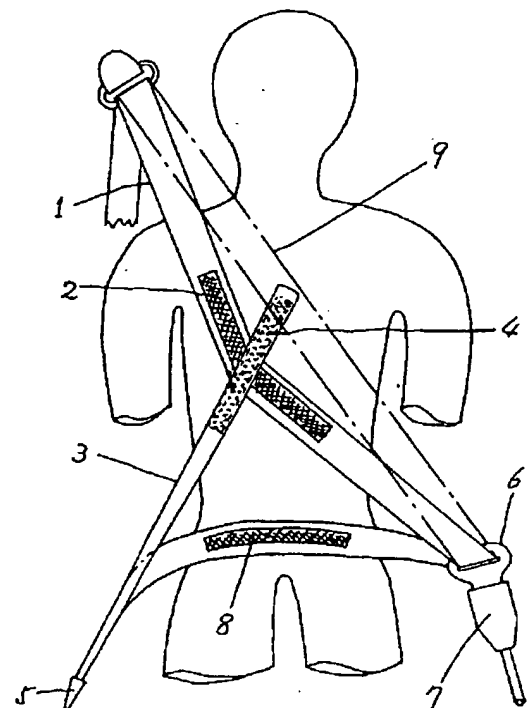
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明によるシートベルトの快適使用装置の実施例を示す正面図である。

図中、1はシートベルト。2は該シートベルト1の斜め部適当位置に添着した適当な長さを有するマジックテープ。3は引っぱりベルト。4は該引っぱりベルト3の上部に添着した適当な長さを有するマジックテープ。5は引っぱりベルト3の

根元の取り付け用フック。6はシートベルト1のタンダプレート。7はバックル。8はシートベルト1の腰骨部ベルトに添着したマジックテープ。9は従来のシートベルトの斜め部の状況を示す想像図。

第 1 図



特許出願人 西田主一